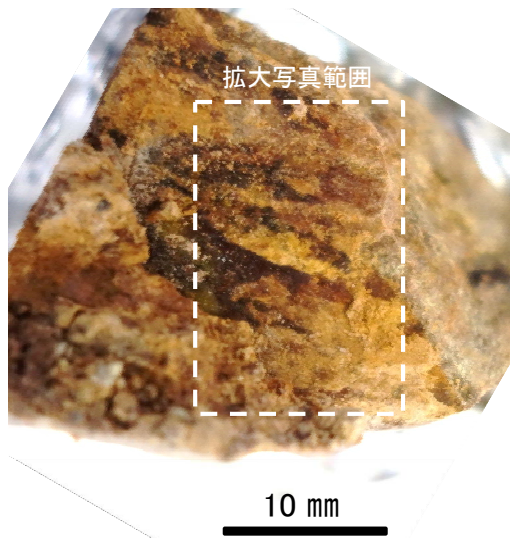
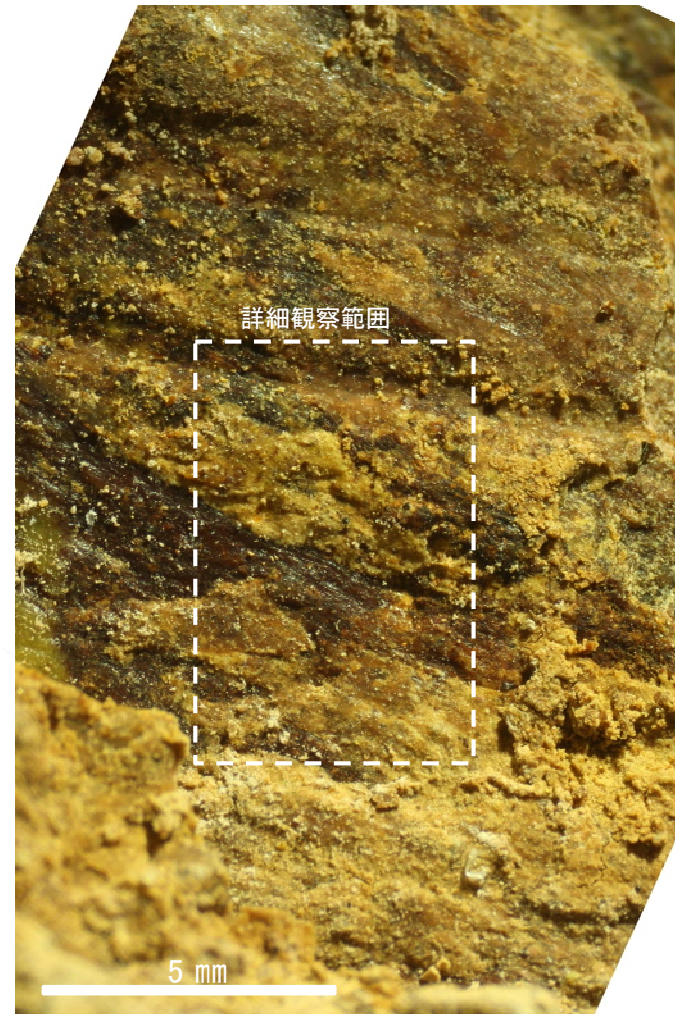


概念図
※走向は真北で示す。



観察面写真



観察面拡大写真



詳細観察写真

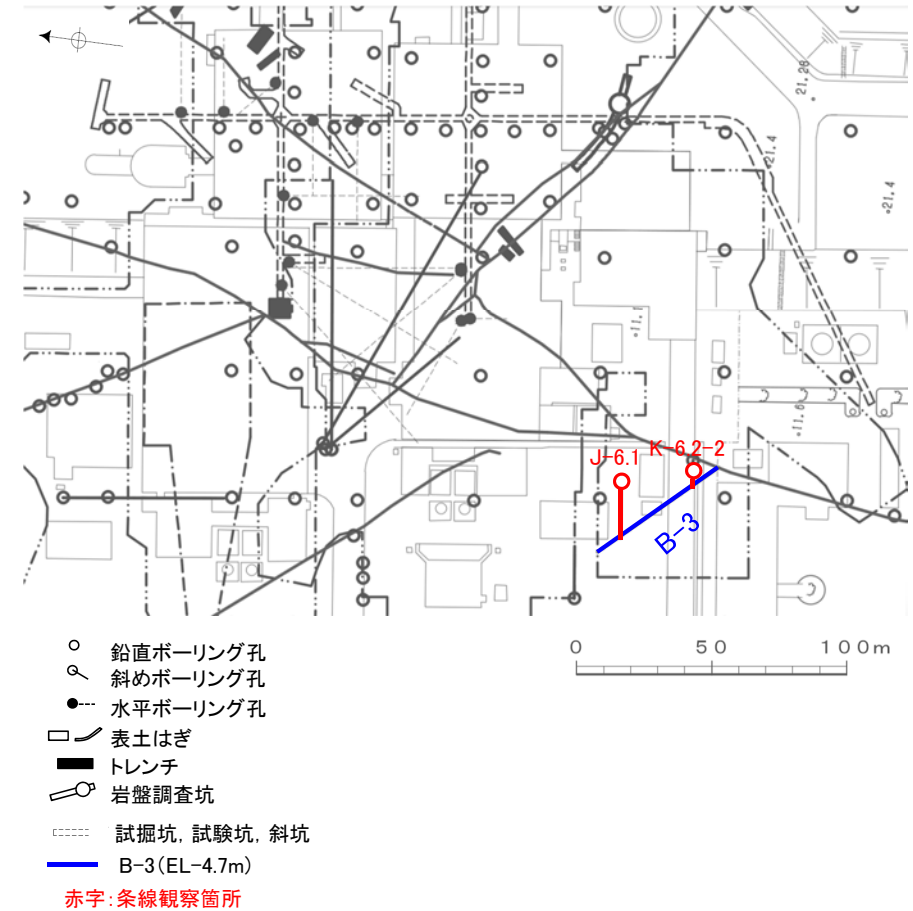
・条線のレイクは4° R (下盤側換算), 変位センスは不明

(2)-10 B-3の条線観察結果

B-3の条線観察結果

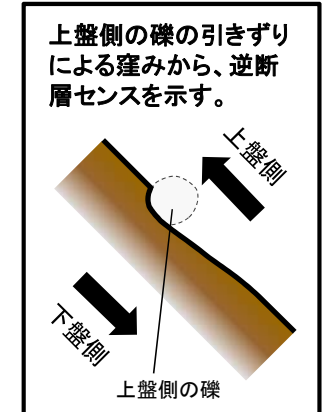
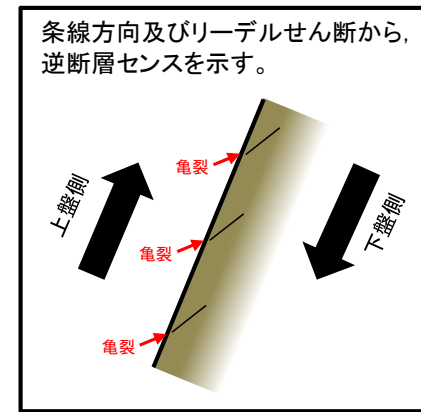
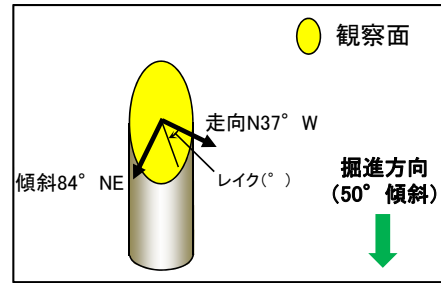
試料名		走向/傾斜 (走向は真北)	条線のレイク※1	変位センス
ボーリングJ-6.1孔 [深度27.90m]	下盤側	N37° W/84° NE	44° R	右横ずれ逆断層
ボーリングK-6.2-2孔 [深度21.40m]	下盤側	N47° W/74° NE	33° R	(不明)

※1 上盤側で確認したレイクは下盤側に換算して示す。



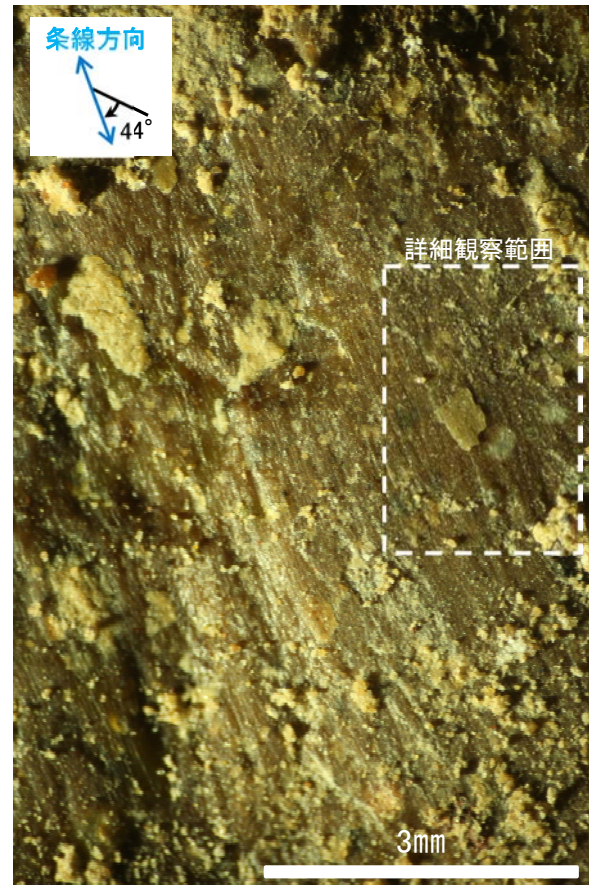
位置図

条線観察結果 ボーリングJ-6.1[深度27.90m](下盤側)



30mm

観察面写真

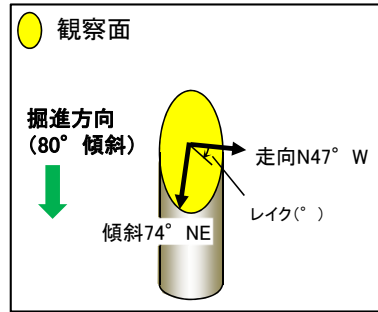


観察面拡大写真



詳細観察写真

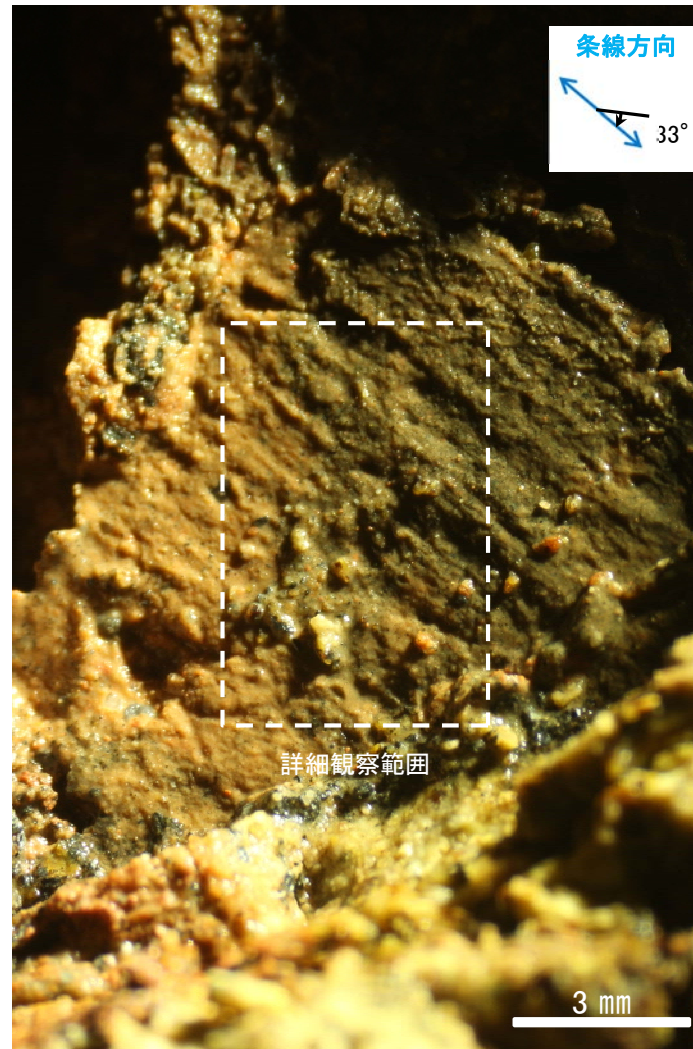
・条線のレイクは44° R, 変位センスは右横ずれ逆断層センス



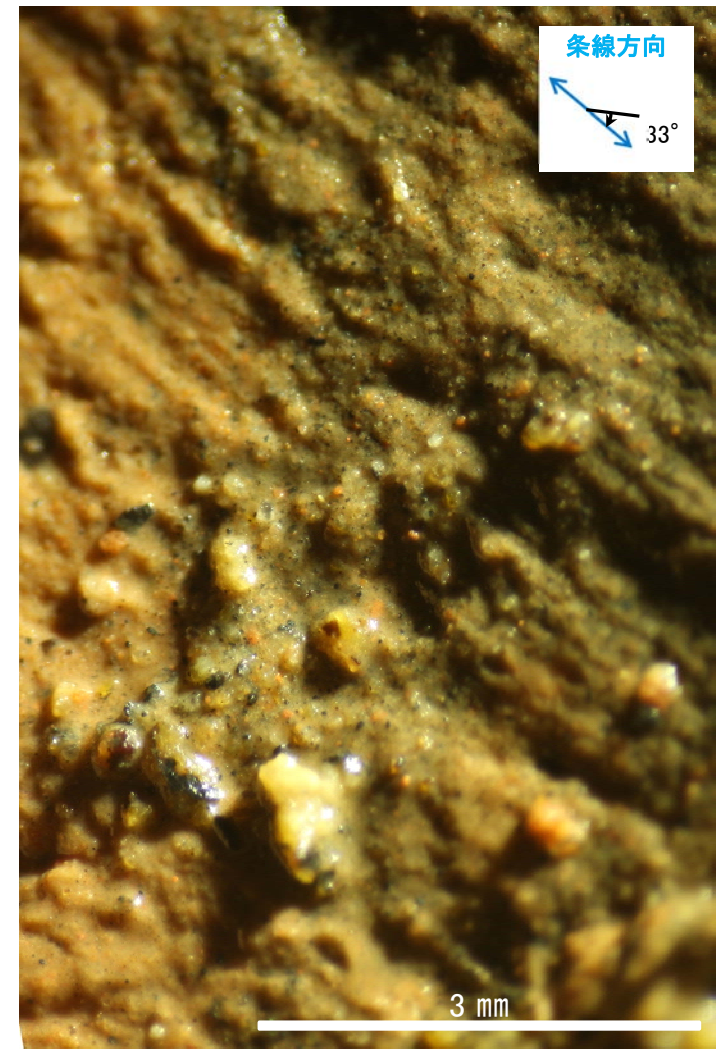
概念図
※走向は真北で示す。



観察面写真



観察面拡大写真



詳細観察写真

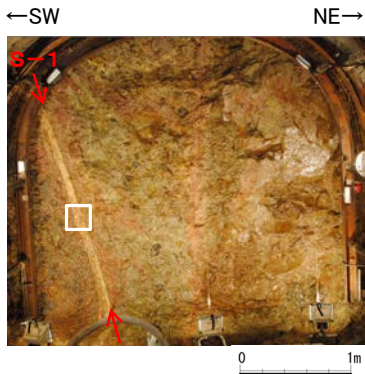
(3) 露頭観察・コア観察・研磨片観察・薄片観察結果

(3)-1 S-1の研磨片観察結果

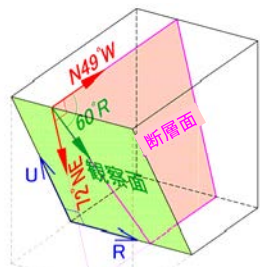
研磨片観察結果(固結した破碎部)	
研磨片番号	変位センス
岩盤調査坑No.23-1_60R	正断層

* 各研磨片試料は、付近の断層の条線観察結果を踏まえたレイクで切断し、作成した。

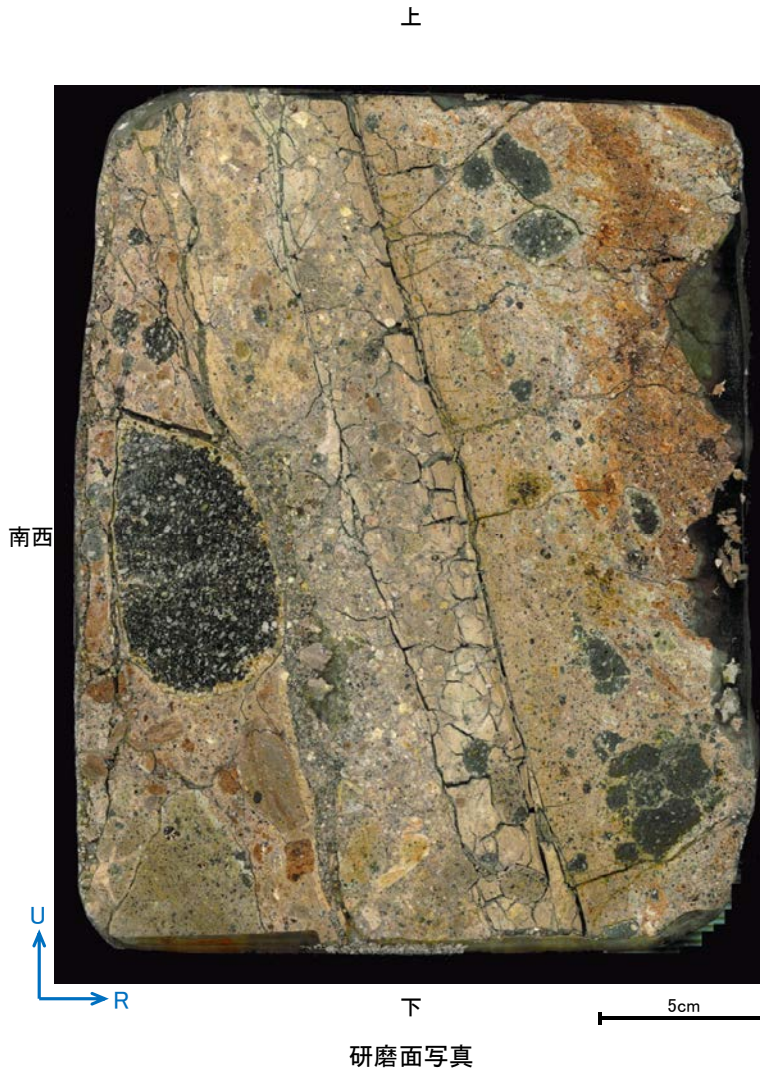




試料採取位置付近(No.23切羽)



観察面概念図
(岩盤調査坑No.23-1_60R)



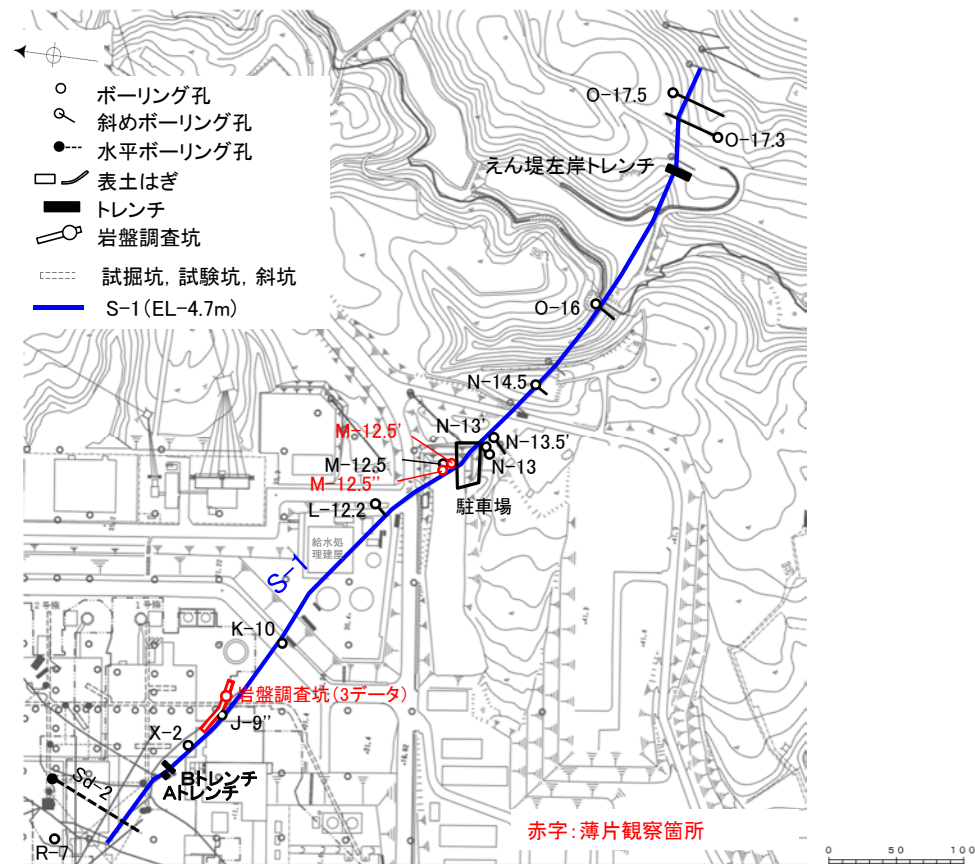
- 凡 例
- P面
 - 変位方向

・固結した破碎部中の変形構造から、見かけ上盤側下がりの正断層センスが認定できる。

(3)-2 S-1の薄片観察結果

薄片観察結果(粘土状破砕部)	
薄片番号	変位センス
岩盤調査坑No.23-1_60R_2	逆断層
岩盤調査坑No.24-2_40R_2	逆断層
岩盤調査坑No.25-2_40R_1	逆断層
M-12.5'_40R	逆断層
M-12.5'_65R	逆断層

* 各薄片試料は、付近の断層の条線観察結果を踏まえたレイクで切断し、作成した。



	顕微鏡観察(右に構造等を加筆)	顕微鏡観察 拡大(右に構造等を加筆)	
岩盤調査坑 No.23-1 ブロック	<p>(単ニコル) 上</p> <p>固結した 粘土状 破砕部 破砕部 固結した破砕部</p> <p>下盤 上盤</p> <p>下 1cm</p>	<p>(単ニコル) 上</p> <p>固結した 粘土状 破砕部 破砕部 固結した破砕部</p> <p>下盤 上盤</p> <p>下 1cm</p>	<p>(単ニコル) 上</p> <p>粘土状破砕部 固結した破砕部</p> <p>下盤 上盤</p> <p>下 1mm</p>
	<p>(直交ニコル) 上</p> <p>固結した 粘土状 破砕部 破砕部 固結した破砕部</p> <p>下盤 上盤</p> <p>下 1cm</p>	<p>(直交ニコル) 上</p> <p>固結した 粘土状 破砕部 破砕部 固結した破砕部</p> <p>下盤 上盤</p> <p>下 1cm</p>	<p>(直交ニコル) 上</p> <p>粘土状破砕部 固結した破砕部</p> <p>下盤 上盤</p> <p>下 1mm</p>
	<p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> — Y面 — P面 — 変位方向 		
	<p>・粘土状破砕部中の変形構造から、見かけ上盤側上がりの逆断層センスが認定できる。</p>		

	顕微鏡観察(右に構造等を加筆)	顕微鏡観察 拡大(右に構造等を加筆)
岩盤調査坑 No.24-2 ブロック	<p>(単ニコル) 上</p> <p>固結した 粘土状 固結した 破砕部 破砕部 破砕部</p> <p>上盤 下盤</p> <p>1cm</p>	<p>(単ニコル) 上</p> <p>固結した 粘土状 固結した 破砕部 破砕部 破砕部</p> <p>上盤 下盤</p> <p>1mm</p>
	<p>(直交ニコル) 上</p> <p>固結した 粘土状 固結した 破砕部 破砕部 破砕部</p> <p>上盤 下盤</p> <p>1cm</p>	<p>(直交ニコル) 上</p> <p>固結した 粘土状 固結した 破砕部 破砕部 破砕部</p> <p>上盤 下盤</p> <p>1mm</p>

凡例
 〇 Y面
 〇 P面
 〇 変位方向

・粘土状破砕部中の変形構造から、見かけ上盤側上がりの逆断層センスが認定できる。

	顕微鏡観察(右に構造等を加筆)	顕微鏡観察 拡大(右に構造等を加筆)
岩盤調査坑 No.25-2 ブロック	<p>(単ニコル)</p>	<p>(単ニコル)</p>
	<p>(直交ニコル)</p>	<p>(直交ニコル)</p>

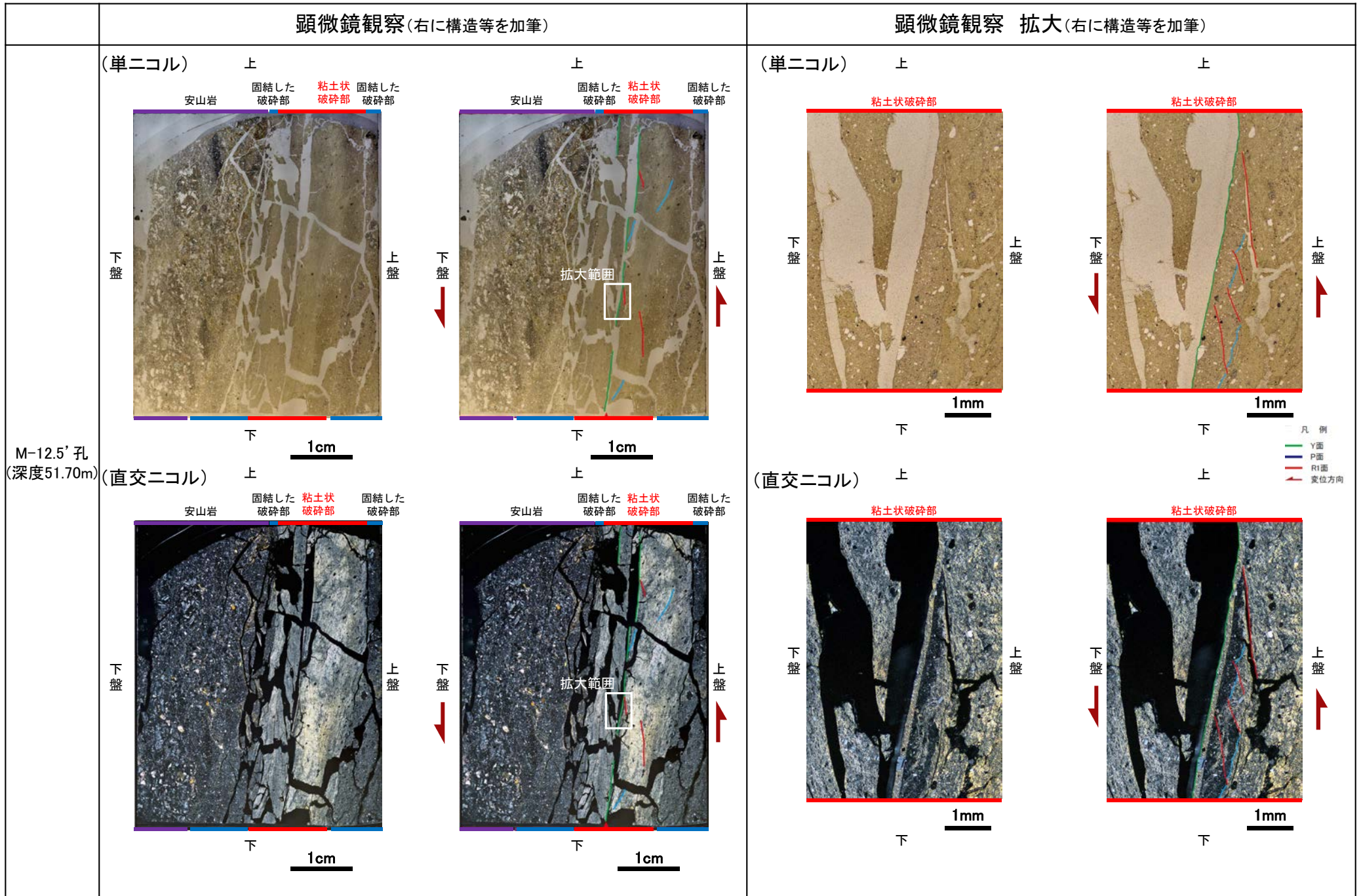
凡例
— Y面
— P面
— 変位方向

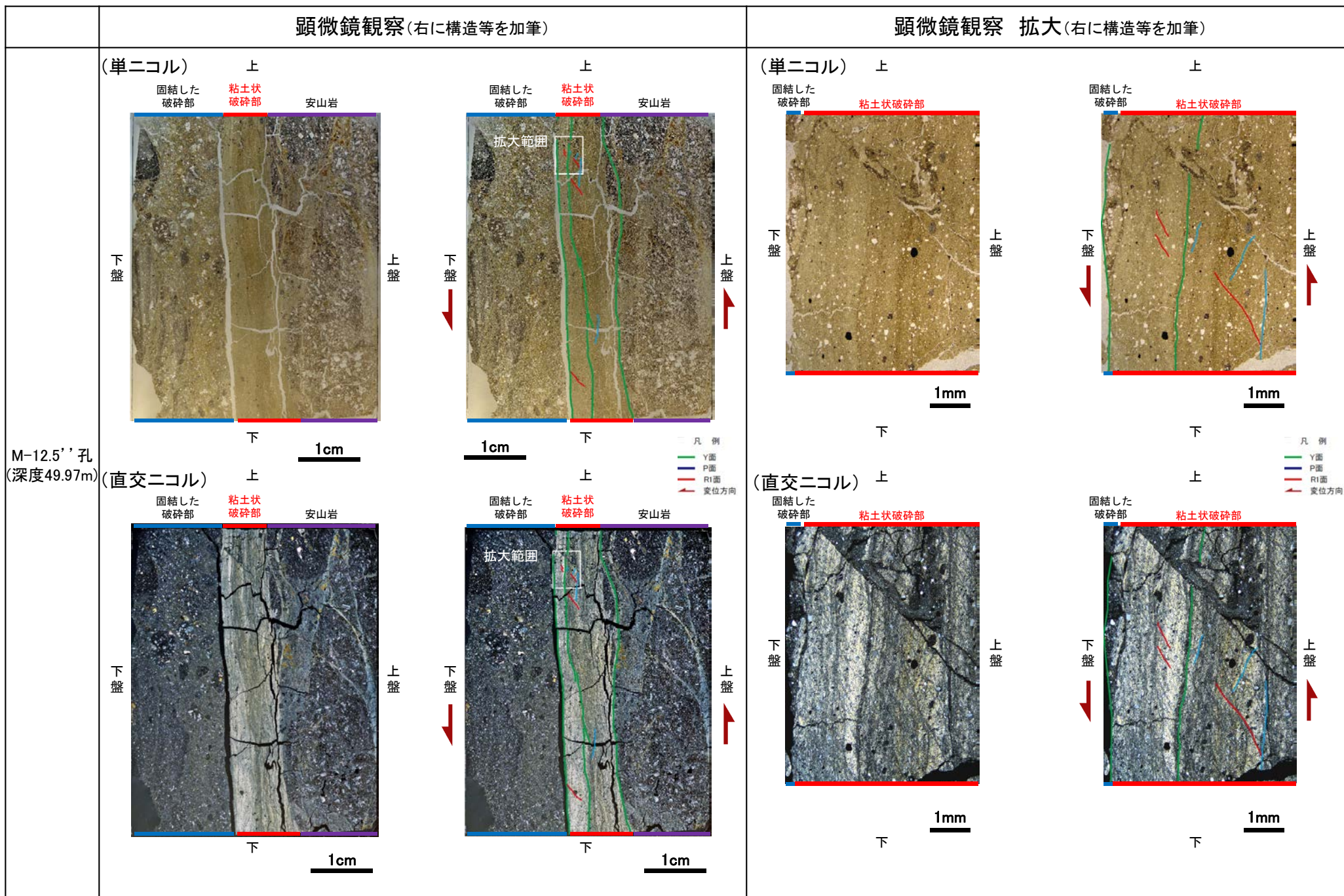
・粘土状破碎部中の変形構造から、見かけ上盤側上がりの逆断層センスが認定できる。

薄片観察結果 (M-12.5'_40R)

■ 糸線観察結果を踏まえ、40° Rのレイクでボーリングコアを切断して作成した薄片を観察した。

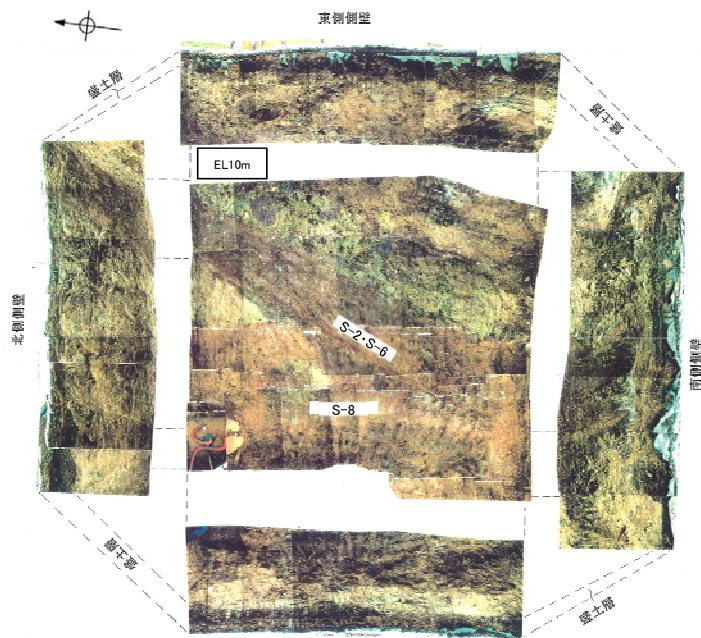
第671回審査会合 机上配布資料1
P.9-192再掲



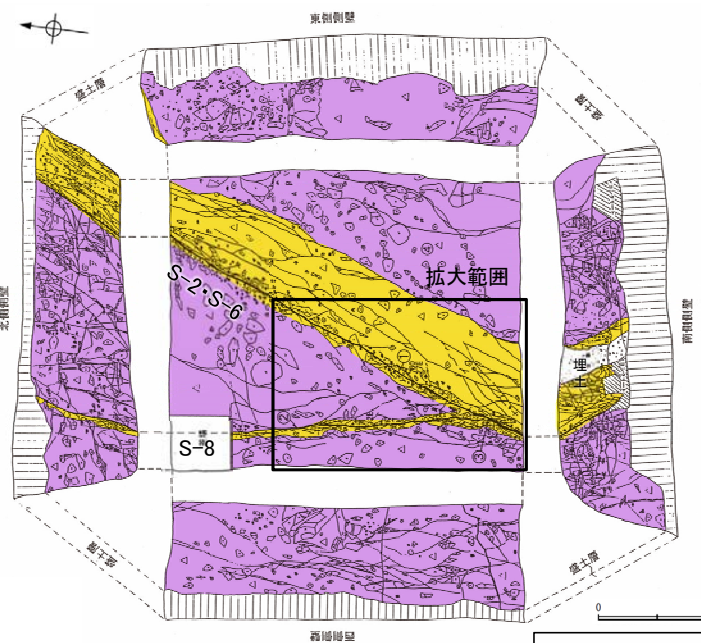


・粘土状破碎部中の変形構造から、見かけ上盤側上がりの逆断層センスが認定できる。

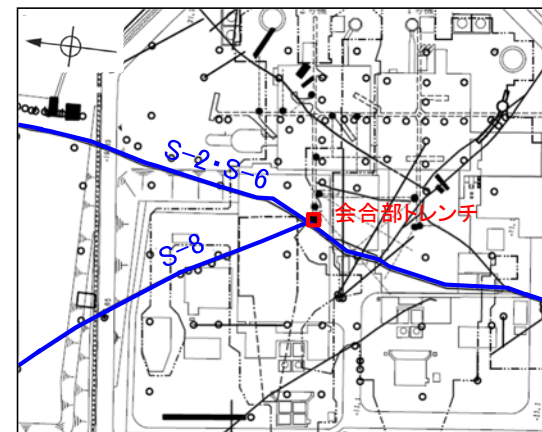
(3)-3 S-2・S-6の露頭観察結果(会合部)



西側斜面
トレンチ写真(展開図)

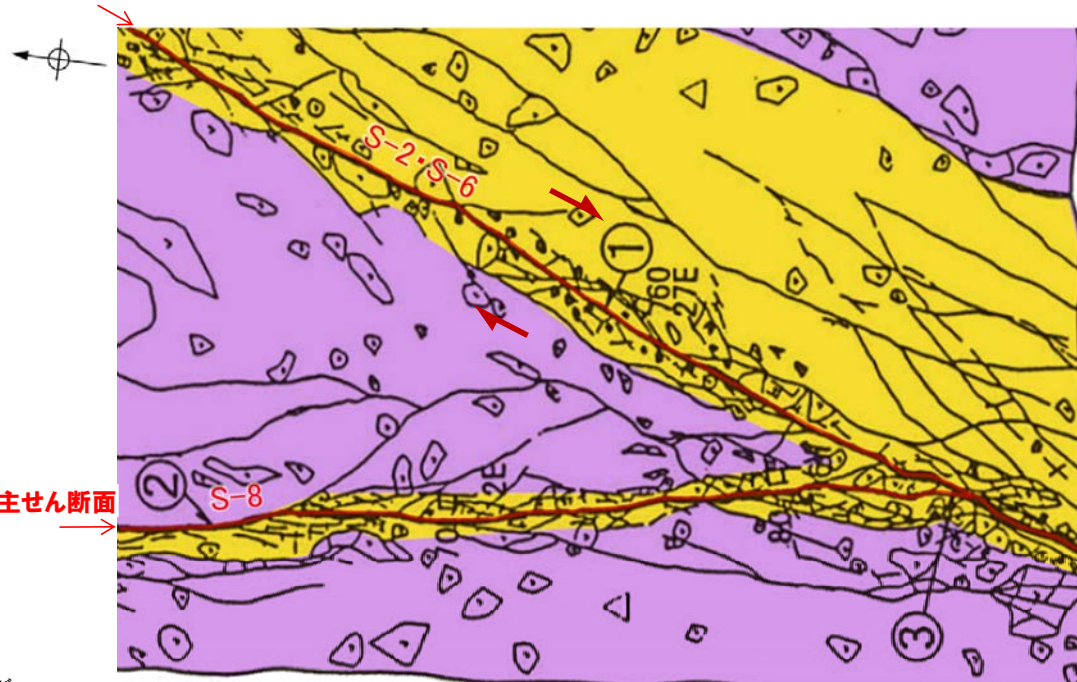


トレンチスケッチ(展開図)
S-2・S-6とS-8の会合部の状況



位置図

主せん断面



見かけの変位方向

トレンチスケッチ(展開図) 拡大図
(原縮尺50分の1)

凡例

	破砕部*
	凝灰角礫岩
	安山岩礫
	節理
	シーム※1
	走向・傾斜

* 破砕部の幅は写真及びスケッチから推定
※1 スケッチ時の記載用語。「粘土状破砕部」に対応する。

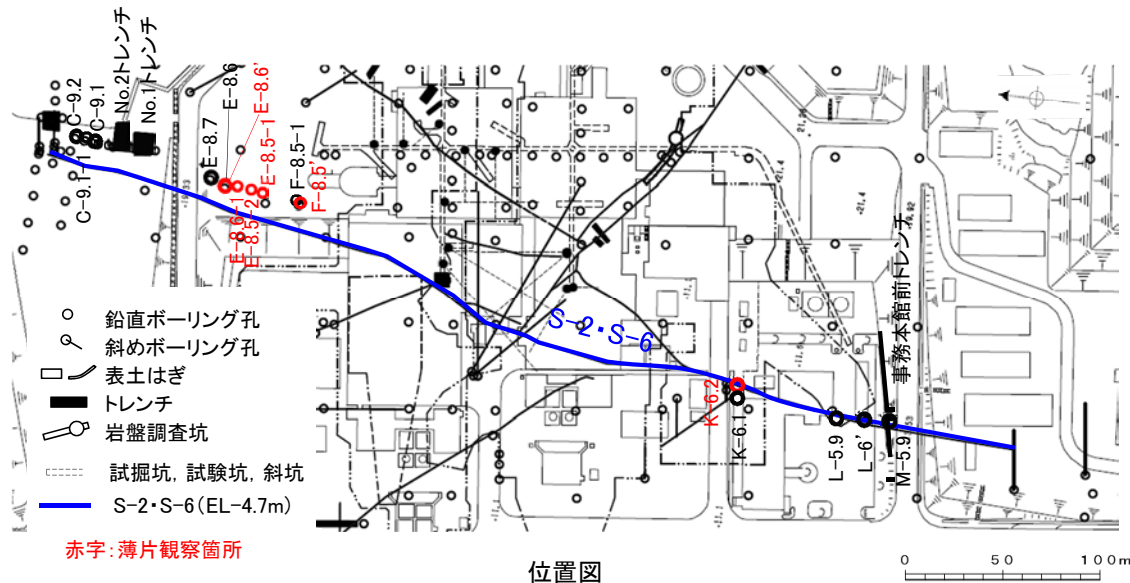
・S-8の主せん断面は会合部付近で、引きずりの形状を示すことから、見かけ右横ずれセンスの動きが認定できる。
・この動きの方向は、粘土状破砕部の条線観察で確認された左横ずれ逆断層センスと運動方向が異なることから、固結した破砕部が形成されたときの動きを表していると考えられる。

(3)-4 S-2・S-6の薄片観察結果

薄片観察結果(固結した破碎部)	
薄片番号	変位センス
F-8.5'_140R	正断層

薄片観察結果(粘土状破碎部)	
薄片番号	変位センス
K-6.2_100R	逆断層
F-8.5'_140R	逆断層
E-8.5-1_140R	逆断層
E-8.5-2_0R	逆断層
E-8.6-1_145R	逆断層
E-8.6'_100R	逆断層

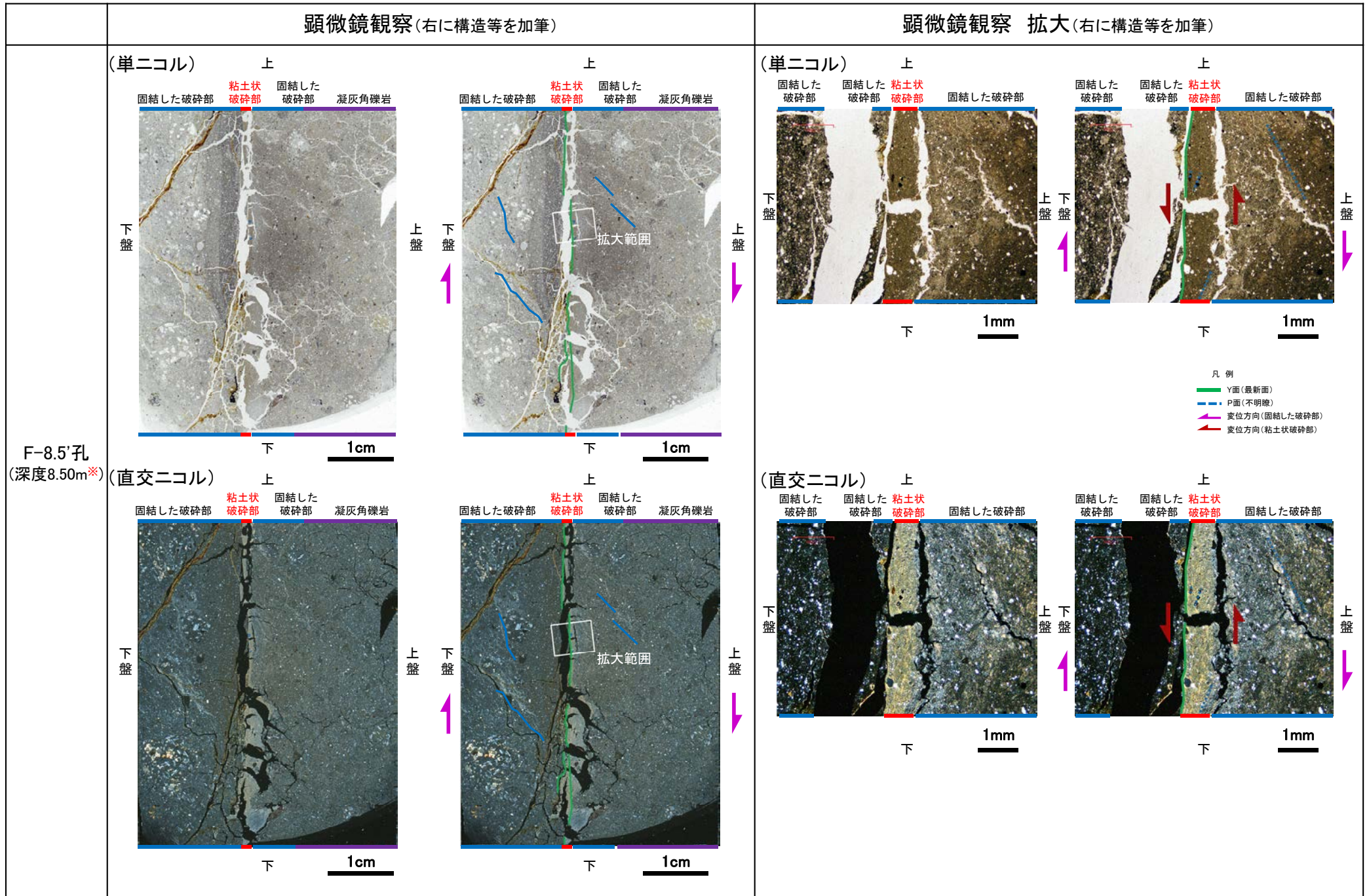
* 各薄片試料は、付近の断層の条線観察結果を踏まえたレイクで切断し、作成した。



薄片観察結果 (F-8.5'_140R)

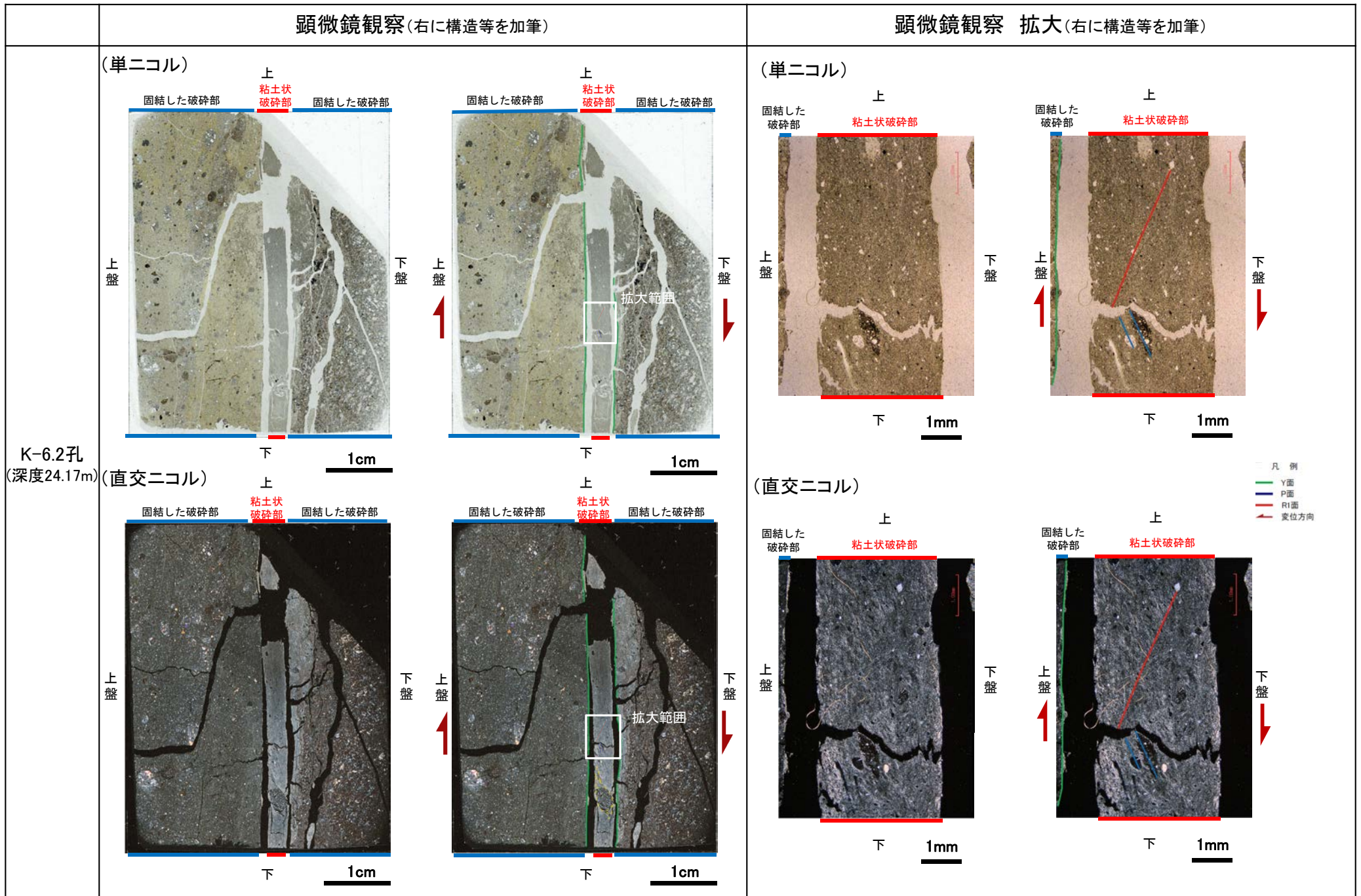
■ 条線観察結果を踏まえ、140° Rのレイクでボーリングコアを切断して作成した薄片を観察した。

第671回審査会合 机上配布資料1
P.9-198一部修正

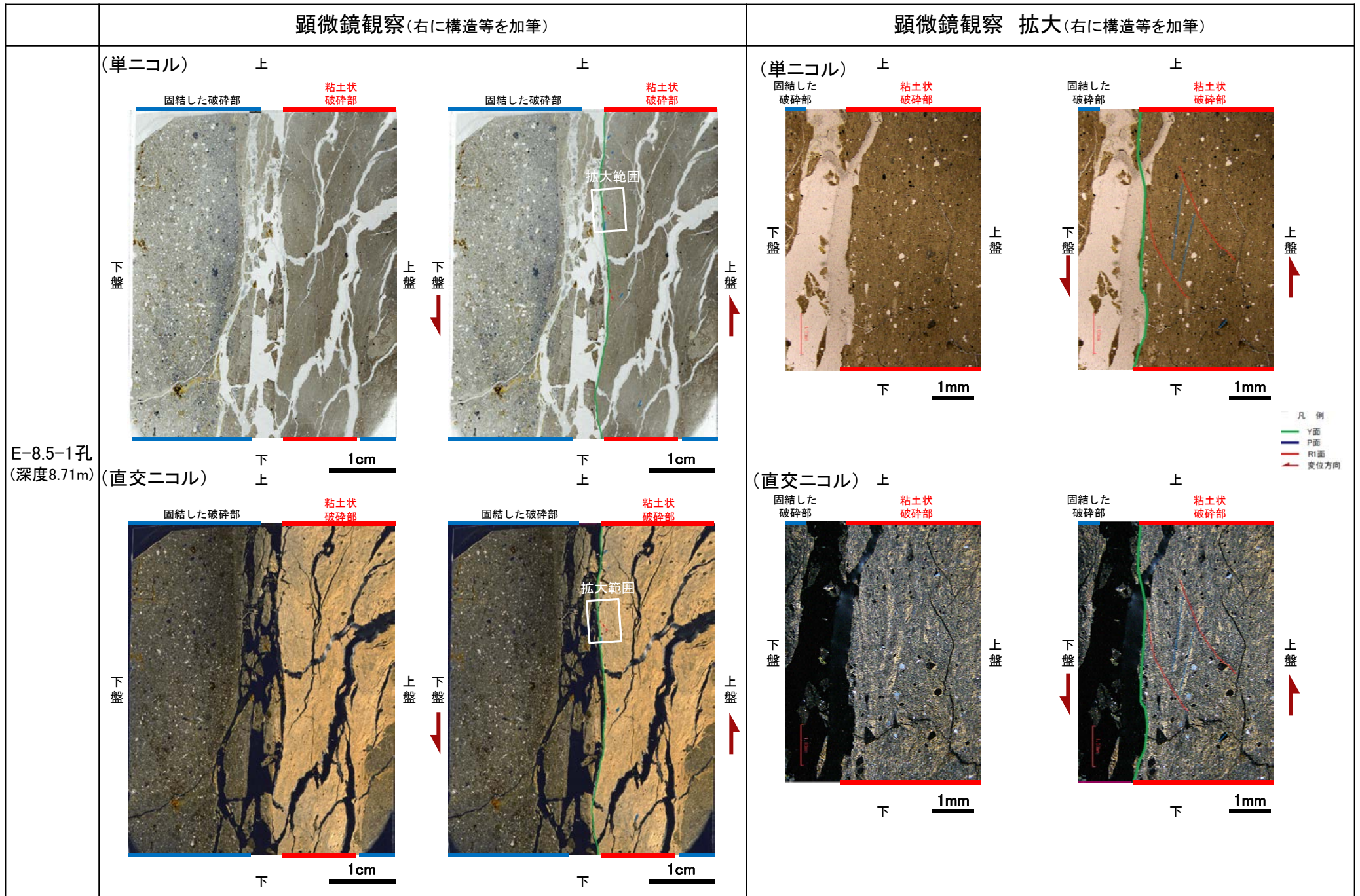


- ・ 固結した破砕部中の変形構造から、見かけ上盤側下がりの正断層センスが認定できる。
- ・ 粘土状破砕部中の変形構造から、見かけ上盤側上がりの逆断層センスが認定できる。

※: 第671回審査会合資料において記載があった「深度8.80m」を「深度8.50m」に修正



・粘土状破砕部中の変形構造から、見かけ上盤側上がりの逆断層センスが認定できる。



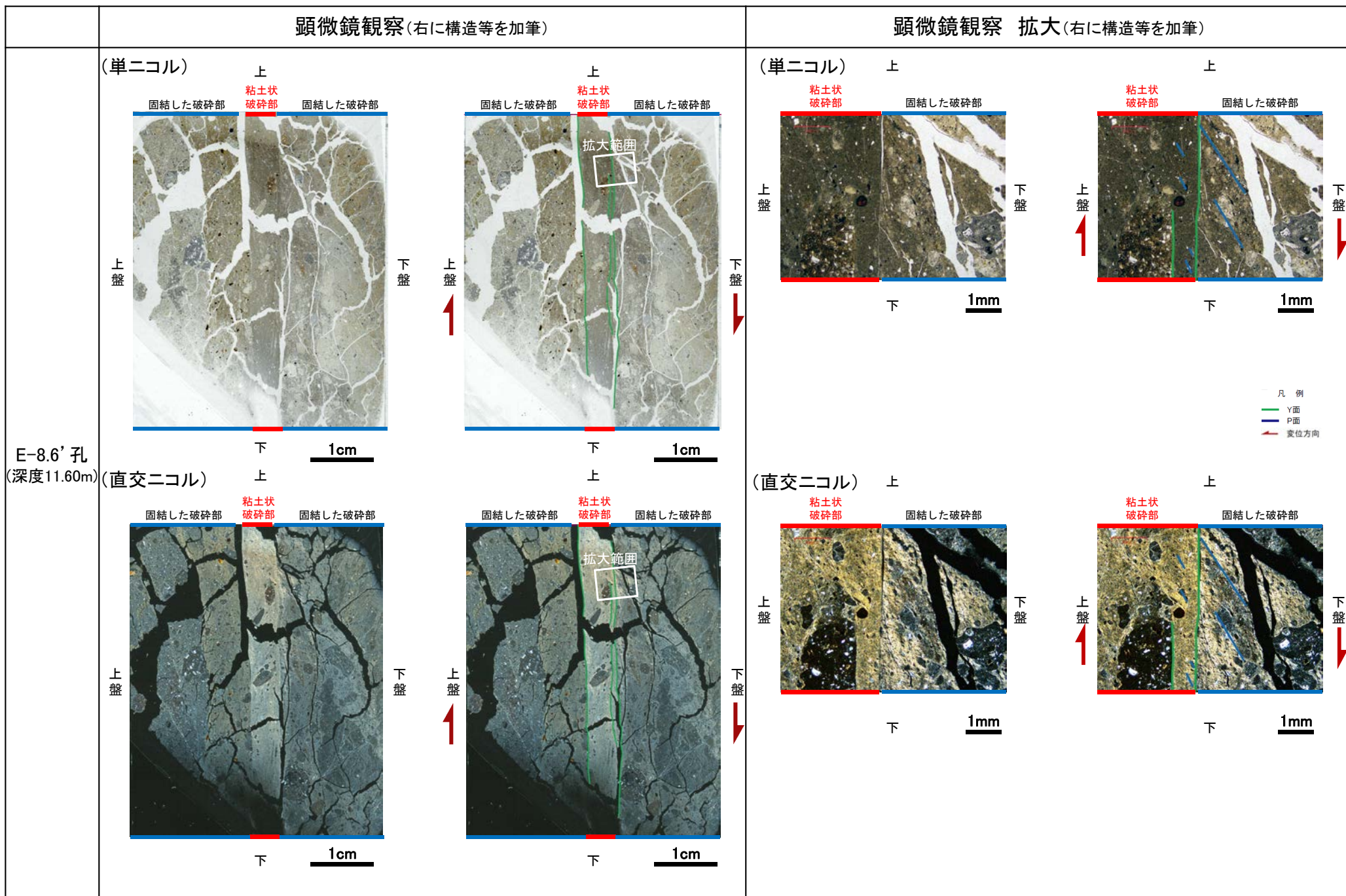
・粘土状破砕部中の変形構造から、見かけ上盤側上がりの逆断層センスが認定できる。

	顕微鏡観察 (右に構造等を加筆)		顕微鏡観察 拡大 (右に構造等を加筆)			
E-8.5-2孔 (深度8.55m)	(単ニコル)	<p>南</p> <p>粘土状 破砕部</p> <p>固結した破砕部</p> <p>1cm</p>	<p>南</p> <p>粘土状 破砕部</p> <p>固結した破砕部</p> <p>拡大範囲</p> <p>1cm</p>	(単ニコル)	<p>南</p> <p>粘土状 破砕部</p> <p>固結した破砕部</p> <p>1mm</p>	<p>南</p> <p>粘土状 破砕部</p> <p>固結した破砕部</p> <p>1mm</p>
	(直交ニコル)	<p>南</p> <p>粘土状 破砕部</p> <p>固結した破砕部</p> <p>1cm</p>	<p>南</p> <p>粘土状 破砕部</p> <p>固結した破砕部</p> <p>拡大範囲</p> <p>1cm</p>	(直交ニコル)	<p>南</p> <p>粘土状 破砕部</p> <p>固結した破砕部</p> <p>1mm</p>	<p>南</p> <p>粘土状 破砕部</p> <p>固結した破砕部</p> <p>1mm</p>
	<p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> — Y面 - - - R1面 (不明瞭) — 変位方向 					
	<p>上盤</p> <p>下盤</p>					

・粘土状破砕部中の変形構造から、見かけ上盤側上がりの逆断層センスが認定できる。

	顕微鏡観察 (右に構造等を加筆)		顕微鏡観察 拡大 (右に構造等を加筆)			
E-8.6-1孔 (深度8.00m)	(単ニコル)	<p>上</p> <p>下盤 上盤</p> <p>下 1cm</p>	<p>上</p> <p>下盤 上盤</p> <p>下 1cm</p>	(単ニコル)	<p>上</p> <p>下盤 上盤</p> <p>下 1mm</p>	<p>上</p> <p>下盤 上盤</p> <p>下 1mm</p>
	(直交ニコル)	<p>上</p> <p>下盤 上盤</p> <p>下 1cm</p>	<p>上</p> <p>下盤 上盤</p> <p>下 1cm</p>	(直交ニコル)	<p>上</p> <p>下盤 上盤</p> <p>下 1mm</p>	<p>上</p> <p>下盤 上盤</p> <p>下 1mm</p>
			<p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> — Y面 — P面 — R1面 — 変位方向 			
			<p>145° R</p>			

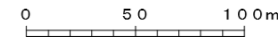
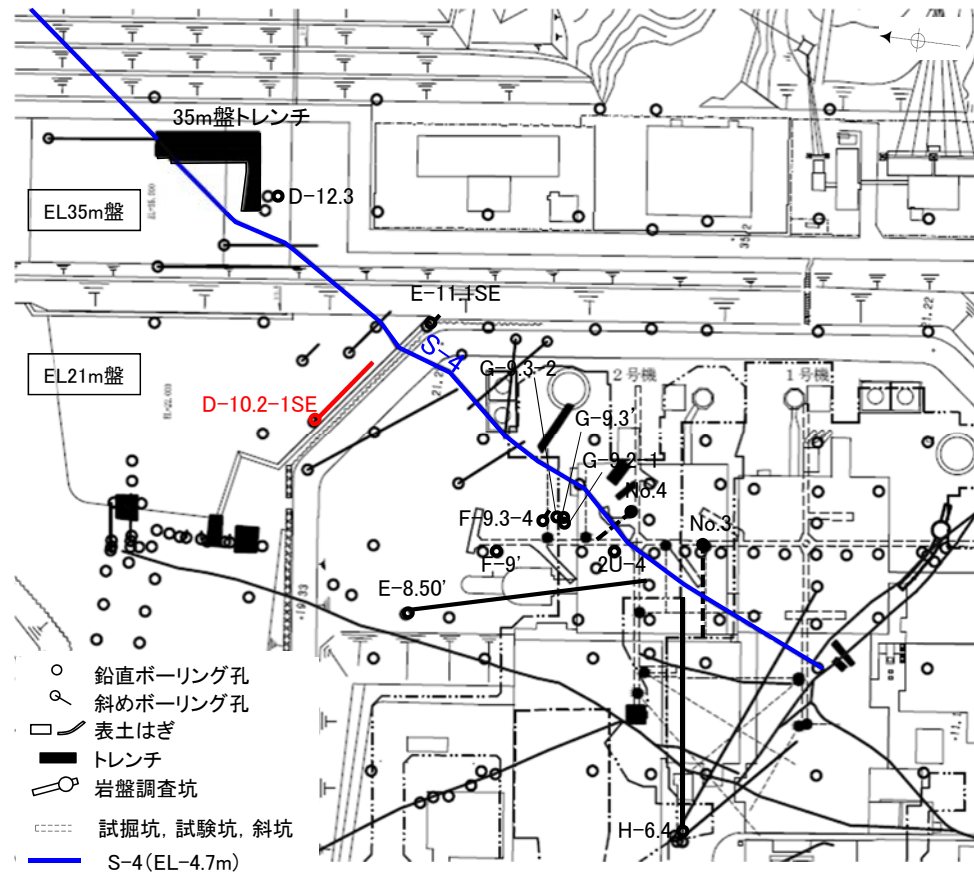
・粘土状破砕部中の変形構造から、見かけ上盤側上がりの逆断層センスが認定できる。



・粘土状破砕部中の変形構造から、見かけ上盤側上がりの逆断層センスが認定できる。

(3)-5 S-4のコア観察結果

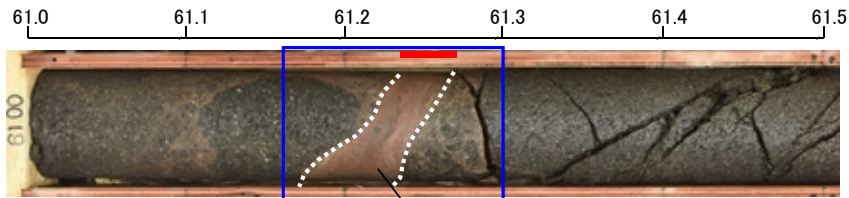
コア観察結果(固結した破碎部)	
ボーリング孔名	変位センス
D-10.2-1SE孔	正断層



赤字: コア観察箇所

位置図

コア観察結果(ボーリングD-10.2-1SE孔)



拡大写真範囲

固結した破碎部

破碎部

D-10.2-1SE孔(傾斜角60°)
コア写真(深度61.0~61.5m)

ボーリング
孔口側
(上盤)

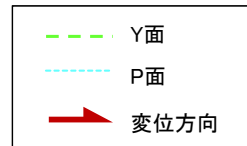
ボーリング
孔底側
(下盤)



ボーリング孔壁下側

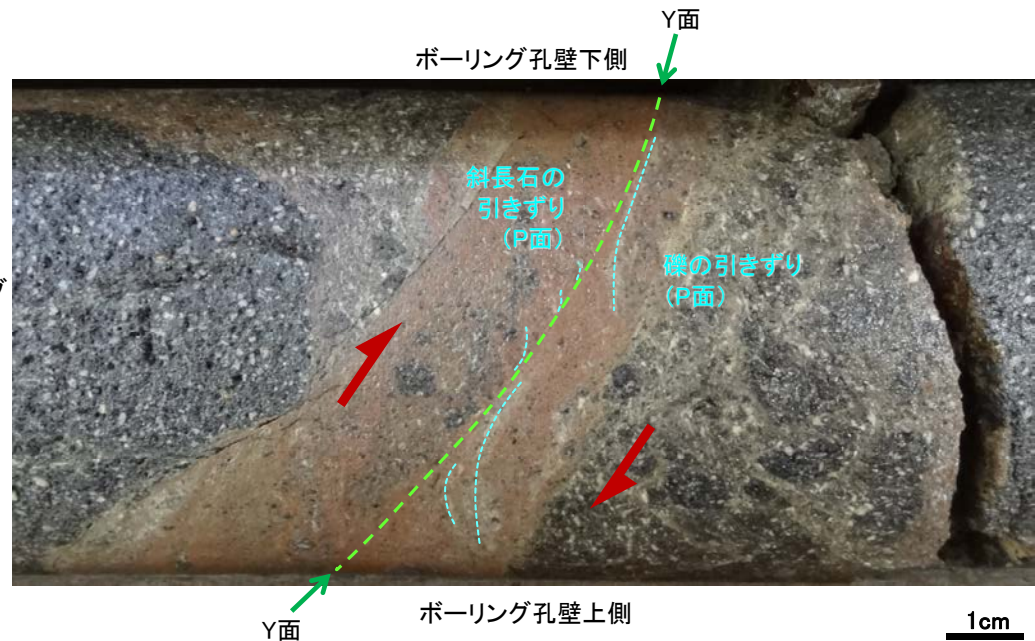
ボーリング孔壁上側

1cm



ボーリング
孔口側
(上盤)

ボーリング
孔底側
(下盤)



ボーリング孔壁下側

ボーリング孔壁上側

1cm

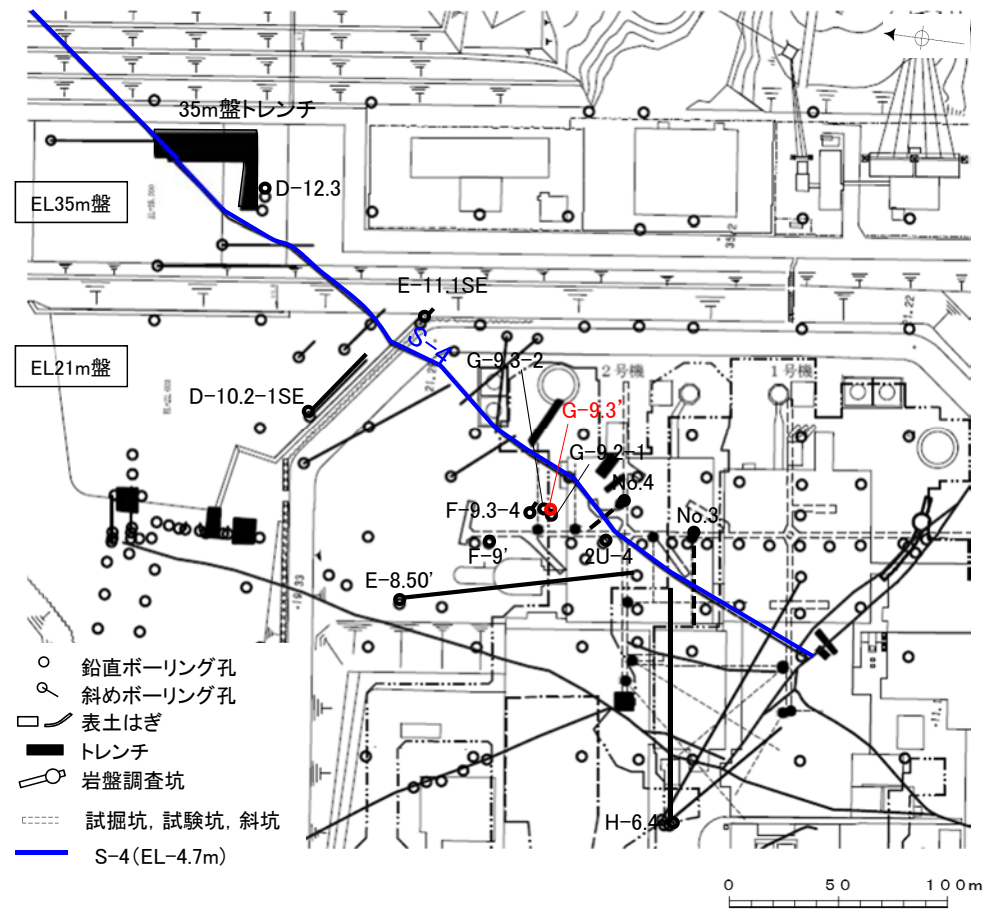
・固結した破碎部中の変形構造から、見かけ上盤側下がりの正断層センスが認定できる。

拡大写真(下は構造等を加筆)

(3)-6 S-4の薄片観察結果

薄片観察結果(粘土状破砕部)	
薄片番号	変位センス
G-9.3'_130R	逆断層

* 各薄片試料は、付近の断層の条線観察結果を踏まえたレイクで切断し、作成した。







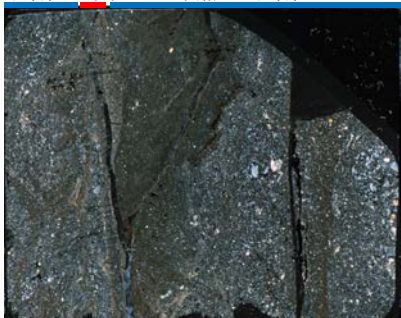
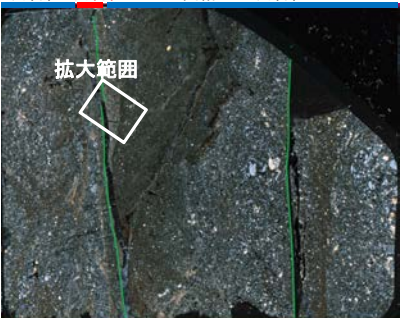
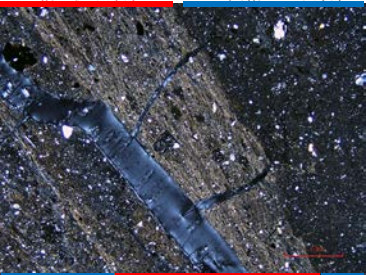
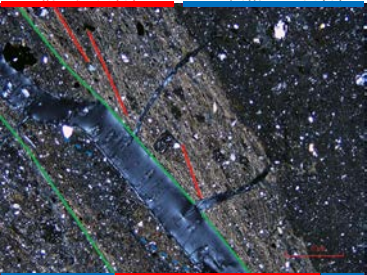
赤字: 薄片観察箇所

位置図

薄片観察結果 (G-9.3' _130R)

■ 条線観察結果を踏まえ、130° Rのレイクでボーリングコアを切断して作成した薄片を観察した。

第671回審査会合 机上配布資料1
P.9-209再掲

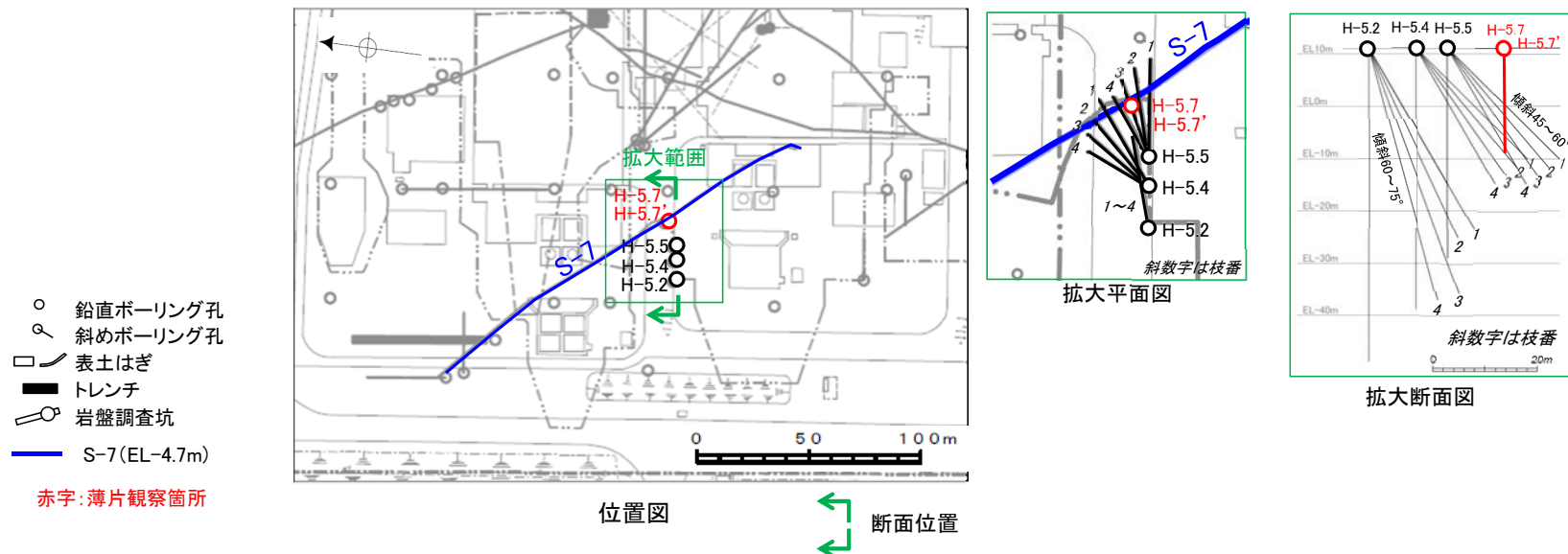
	顕微鏡観察 (右に構造等を加筆)		顕微鏡観察 拡大 (右に構造等を加筆)			
G-9.3' 孔 (深度62.19m)	(単ニコル)	<p>上</p> <p>固結した 粘土状 破砕部 破砕部</p>  <p>上盤</p> <p>下盤</p> <p>1cm</p>	<p>上</p> <p>固結した 粘土状 破砕部 破砕部</p> <p>拡大範囲</p>  <p>上盤</p> <p>下盤</p> <p>1cm</p>	(単ニコル)	<p>上</p> <p>粘土状破砕部 固結した破砕部</p>  <p>上盤</p> <p>下盤</p> <p>1mm</p>	<p>上</p> <p>粘土状破砕部 固結した破砕部</p>  <p>上盤</p> <p>下盤</p> <p>1mm</p>
	(直交ニコル)	<p>上</p> <p>固結した 粘土状 破砕部 破砕部</p>  <p>上盤</p> <p>下盤</p> <p>1cm</p>	<p>上</p> <p>固結した 粘土状 破砕部 破砕部</p> <p>拡大範囲</p>  <p>上盤</p> <p>下盤</p> <p>1cm</p>	(直交ニコル)	<p>上</p> <p>粘土状破砕部 固結した破砕部</p>  <p>上盤</p> <p>下盤</p> <p>1mm</p>	<p>上</p> <p>粘土状破砕部 固結した破砕部</p>  <p>上盤</p> <p>下盤</p> <p>1mm</p>
					<p>凡例</p> <p>— Y面</p> <p>— R1面</p> <p>— 変位方向</p>	

・粘土状破砕部中の変形構造から、見かけ上盤側上がりの逆断層センスが認定できる。

(3)-7 S-7の薄片観察結果

薄片観察結果(固結した破碎部, 粘土状破碎部)	
薄片番号	変位センス
H-5.7_20R	不明
H-5.7'_20R	不明

* 各薄片試料は、付近の断層の条線観察結果を踏まえたレイクで切断し、作成した。



薄片観察結果 (H-5.7_20R)

■ 条線観察結果を踏まえ、20° Rのレイクでボーリングコアを切断して作成した薄片を観察した。

第671回審査会合 机上配布資料1
P.9-212再掲

	顕微鏡観察 (右に構造等を加筆)		顕微鏡観察 拡大 (右に構造等を加筆)				
H-5.7孔 (深度13.20m)	(単ニコル)			(単ニコル)			
	(直交ニコル)			(直交ニコル)			
							<p>凡例</p> <p>— Y面</p>

・固結した破砕部、粘土状破砕部中には変位センスが認定できるような明瞭な変形構造は認められない。

薄片観察結果(H-5.7'_20R)

■ 条線観察結果を踏まえ、20° Rのレイクでボーリングコアを切断して作成した薄片を観察した。

第671回審査会合 机上配布資料1
P.9-213再掲

	顕微鏡観察(右に構造等を加筆)		顕微鏡観察 拡大(右に構造等を加筆)			
H-5.7'孔 (深度14.32m)	(単ニコル)			(単ニコル)		
	(直交ニコル)			(直交ニコル)		
						<p>凡例</p> <p>— Y面</p>

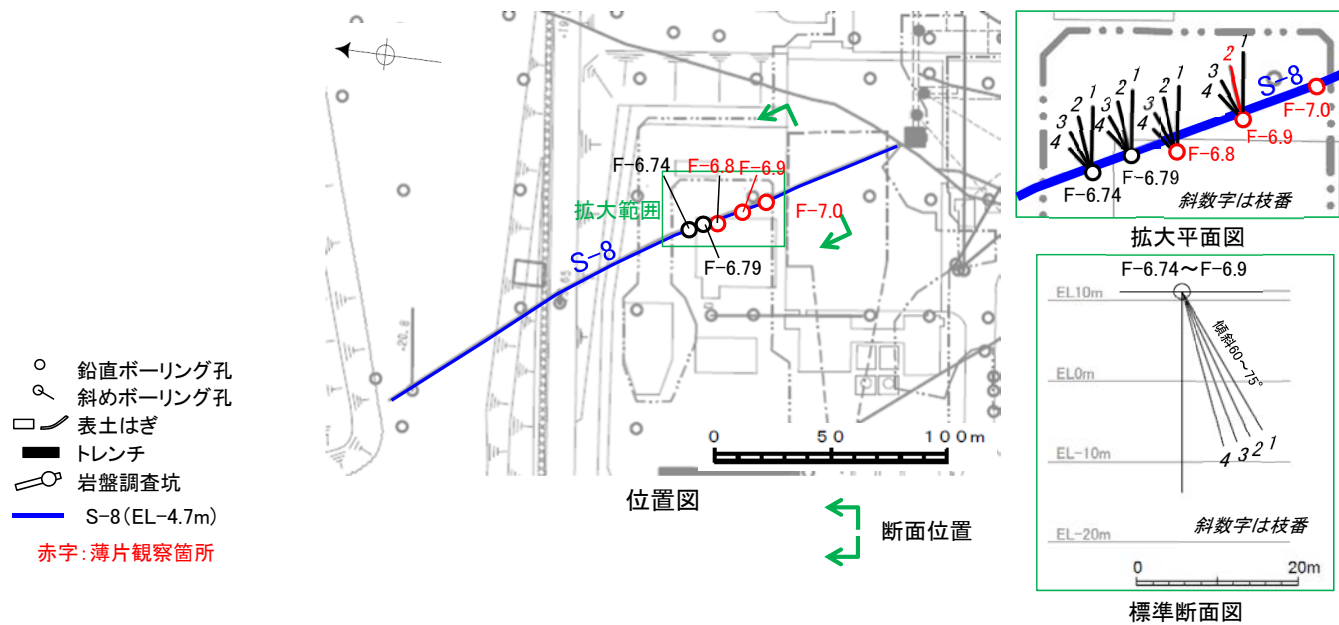
・固結した破砕部、粘土状破砕部中には変位センスが認定できるような明瞭な変形構造は認められない。

(3)-8 S-8の薄片観察結果

薄片観察結果(固結した破碎部)	
薄片番号	変位センス
F-6.9-2_145R	正断層

薄片観察結果(固結した破碎部, 粘土状破碎部)	
薄片番号	変位センス
F-6.8_70R	不明
F-7.0_70R	不明

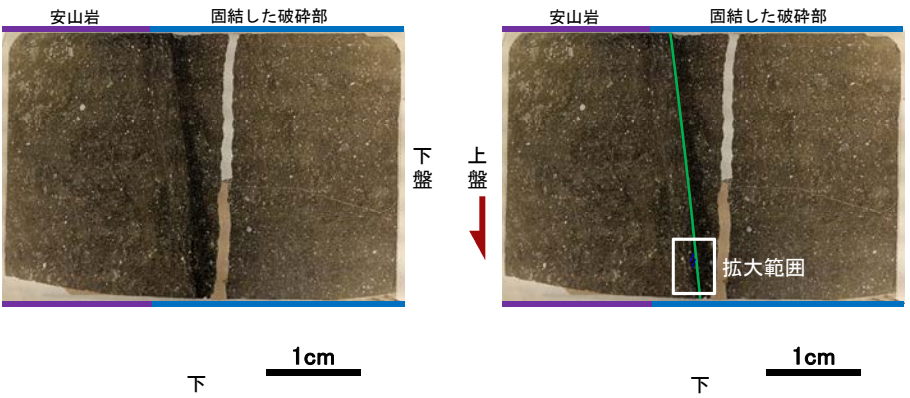
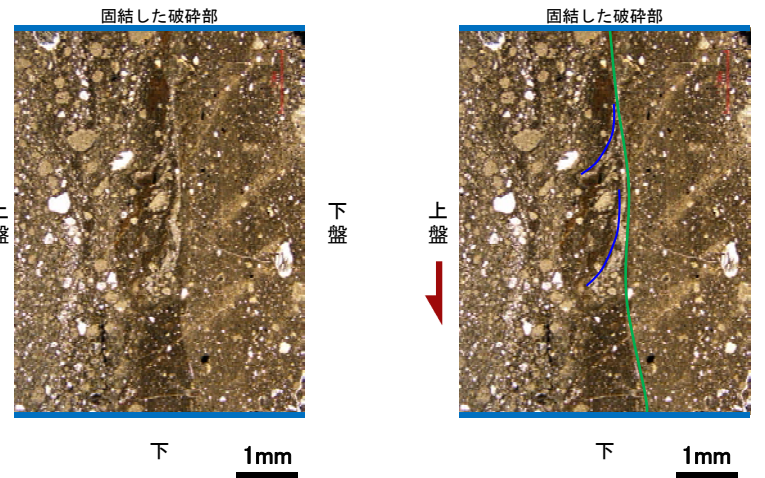
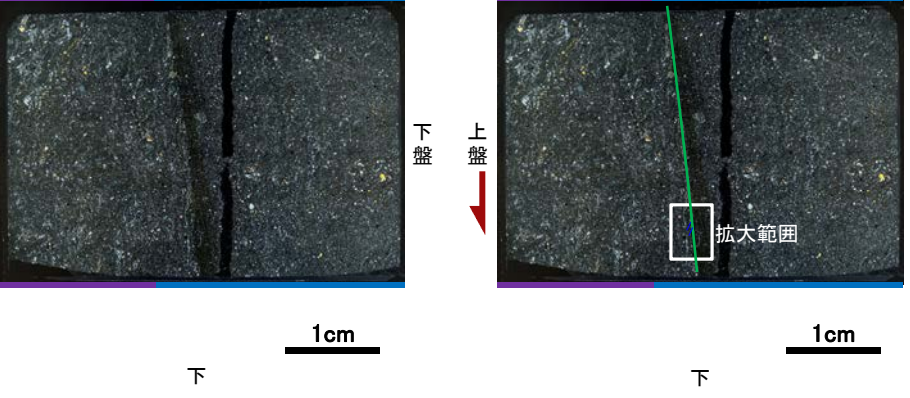
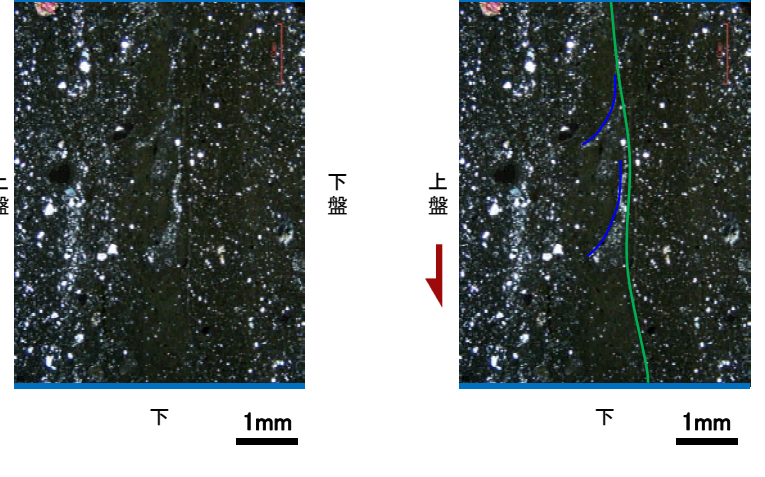
* 各薄片試料は、付近の断層の条線観察結果を踏まえたレイクで切断し、作成した。



薄片観察結果 (F-6.9-2_145R)

■ 糸線観察結果を踏まえ、145° Rのレイクでポーリングコアを切断して作成した薄片を観察した。

第671回審査会合 机上配布資料1
P.9-216再掲

	顕微鏡観察 (右に構造等を加筆)	顕微鏡観察 拡大 (右に構造等を加筆)
F-6.9-2孔 (深度13.30m)	<p>(単ニコル) 上</p>  <p>1cm</p>	<p>(単ニコル) 上</p>  <p>1mm</p>
	<p>(直交ニコル) 上</p>  <p>1cm</p>	<p>(直交ニコル) 上</p>  <p>1mm</p>

凡例
— Y面
— P面
↕ 変位方向

・固結した破砕部中の変形構造から、見かけ上盤側下がりの正断層センスが認定できる。

薄片観察結果 (F-6.8_70R)

■ 条線観察結果を踏まえ、70° Rのレイクでボーリングコアを切断して作成した薄片を観察した。

第671回審査会合 机上配布資料1
P.9-217再掲

	顕微鏡観察 (右に構造等を加筆)	顕微鏡観察 拡大 (右に構造等を加筆)		
F-6.8孔 (深度23.75m)	<p>(単ニコル) 上</p> <p>凝灰角礫岩 粘土状破砕部 固結した破砕部</p> <p>下盤 拡大範囲 上盤 下盤</p> <p>1cm</p>	<p>(単ニコル) 上</p> <p>凝灰角礫岩 粘土状破砕部 固結した破砕部</p> <p>下盤 拡大範囲 上盤 下盤</p> <p>1cm</p>	<p>(単ニコル) 上</p> <p>凝灰角礫岩 固結した破砕部 粘土状破砕部 固結した破砕部</p> <p>下盤 上盤 下盤 上盤</p> <p>1mm</p>	<p>(単ニコル) 上</p> <p>凝灰角礫岩 固結した破砕部 粘土状破砕部 固結した破砕部</p> <p>下盤 上盤 下盤 上盤</p> <p>1mm</p>
	<p>(直交ニコル) 上</p> <p>凝灰角礫岩 粘土状破砕部 固結した破砕部</p> <p>下盤 拡大範囲 上盤 下盤</p> <p>1cm</p>	<p>(直交ニコル) 上</p> <p>凝灰角礫岩 粘土状破砕部 固結した破砕部</p> <p>下盤 拡大範囲 上盤 下盤</p> <p>1cm</p>	<p>(直交ニコル) 上</p> <p>凝灰角礫岩 固結した破砕部 粘土状破砕部 固結した破砕部</p> <p>下盤 上盤 下盤 上盤</p> <p>1mm</p>	<p>(直交ニコル) 上</p> <p>凝灰角礫岩 固結した破砕部 粘土状破砕部 固結した破砕部</p> <p>下盤 上盤 下盤 上盤</p> <p>1mm</p>
				<p>凡例</p> <p>— Y面</p>

・固結した破砕部、粘土状破砕部中には変位センスが認定できるような明瞭な変形構造は認められない。